

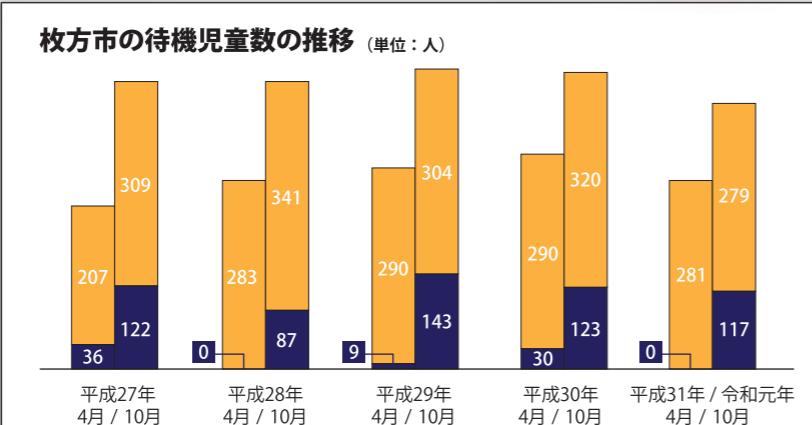
代表質問を行いました

待機児童の通年のゼロの早期実現について

市内各エリアで「待機児童用保育室」の設置を進め
通年での待機児童解消を

かじや 質問 「通年の待機児童ゼロ」をめざすため、南部地域に「待機児童用保育室」を開設するとのことですが、南部地域以外への設置についてどのように考えているのか、また「待機児童用保育室」の保育料はどの程度になるのかお聞きます。

伏見市長 答弁 他の地域においても令和4年度中に設置できるよう取り組み、早期に通年のゼロを目指します。保育料については、認可保育所等の保育料を踏まえ決定していくと考えています。



市基準の待機児童 特定の保育所等を希望する場合など、潜在的な待機児童を含む保育の必要性があり、保育所等への入所申込が出されているが、入所できていない児童のうち、特定の保育所を希望するなどの要件に該当する児童を除いた数。

かじや 意見・提言 枚方市では、平成31年4月の年度当初において待機児童ゼロを達成していますが、希望する保育所に入れない潜在的な待機児童や、年度途中の待機児童は毎年発生しています。そこで、年度途中の転入や育児休業明け等の保育需要に対応するため「待機児童用保育室」を今

和3年度中に南部地域において開設する計画です。しかし「通年の待機児童ゼロ」の実現に向けては、市内に1か所だけの設置では十分ではなく、また近隣地域で安心して保育の確保ができる環境を整備するためにも、南部以外の地域について早期の開設を提案しました。

学校体育館への空調設備の設置について

子どもたちの熱中症予防対策や
避難所の環境改善を

かじや 質問 授業中の熱中症予防対策や、災害時の避難所生活の環境改善の観点から、学校体育館への空調設備の設置は、喫緊の課題であると考えますが見解をお聞きます。

伏見市長 答弁 学校体育館に空調設備を設置することは、重要な施策であると考えおり、現在、国庫補助金の活用も含めた財源確保策や設置手法などについて検討を行っているところです。

かじや 意見・提言 夏の猛暑により、学校では多くの子どもたちが熱中症により体調を崩していると聞いています。そのような状況の中で、熱中症予防対策については重要な課題です。また、甚大な被害をもたらす自然災害が近年多発しており、特に真夏日や真冬日における長期間の避難所生活を強いられた場合に、健康面に与える二次被害についても懸念されます。

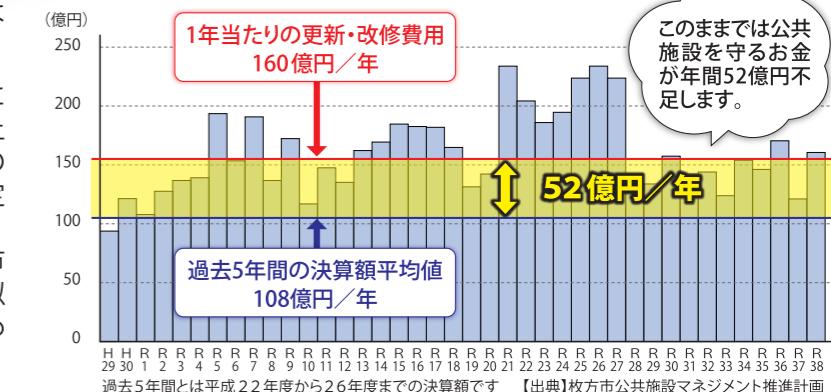
これら2つの課題を解決するためにも空調設備の設置について、財源確保策を含めて早期に取り組みを進めるよう提案しました。また、設置までの間、子どもたちの熱中症予防対策についてもしっかりと取り組むよう提案しました。

公共施設の整備、維持管理について

既存施設の有効活用や複合化等により施設総量の最適化を

公共施設の将来更新・改修費用と過去5年間の決算額平均値

今後40年間の更新・改修費用 約6,400億円



かじや 質問 市有地の有効活用について、また公共施設の集約化や複合化について、今後どのように取り組んでいくのかお聞きします。

伏見市長 答弁 市有地の有効活用については、未利用の土地の洗い出しの作業を行っており、この結果をもとに民間提案を募っていく予定です。また、公共施設の集約化については、市内における公共施設の配置状況や類似施設との比較など、多角的な分析を進めていく考えです。

かじや 意見・提言 市有地の有効活用については、枚方市が関係するすべての土地について、少しの期間でも有効活用するという意識を持って取り組んでいく必要があります。また、人口減少・少子高齢化の進展により、公共施設に対するニーズも変化するとともに、施設の老朽化が進み、公共施設

の更新・改修費用が増大することが予測されます。このような状況の中、施設の長寿命化を推進するとともに、将来の人口規模・構造に応じた施設総量の最適化が求められます。

今後、施設の複合化や既存施設の有効活用などを進め、施設総量の最適化を図るよう提案しました。

地域共生社会 の実現に向けて

複合する課題の相談にワンストップで対応を

健康、福祉、子育て、介護、障がい、生活困窮などに関する課題は、それぞれが複合的に重なり、ひとつの観点だけでは対応できないことから、市役所の各担当課が連携して取り組む必要があります。

本年4月から「地域健康福祉室」を設置し、複合的な課題に対して一元的に対応をすることですので、市民からの様々な相談にワンストップで対応する機能や、訪問活動の強化について提案しました。

自治会館 の建設助成制度

ニーズを把握し現状に合った見直しを

自治会の多くは役員が頻繁に変わるために、自治会館の維持・修繕について中長期的に管理する体制を整えるのが難しい状況であると考えます。

自治会の潜在ニーズや方針をしっかりと把握し、現状に合った制度へと見直しを行うよう提案しました。

牧野高槻線 淀川渡河橋 周辺道路の安全対策

大阪府に対し歩道整備等の働きかけを

市の調査では、都市計画道路牧野高槻線(淀川渡河橋)の整備に伴い、主要地方道枚方高槻線の交通量が増加するとのことです。

この路線については、交通量が多く主要な幹線道路にもかかわらず道路幅が狭く、歩道が整備されていないことから、所管である大阪府に対して歩道の整備を含め様々な安全対策を強く働きかけるよう提案しました。

※今回の代表質問では、本紙に掲載した項目を含め市政全般にわたって32項目の質問を行いました。